

令和 8 年 7 月吉日

各位

がんと診断された働く人の治療と仕事の両立支援研修会のご案内

私どもは、これまでの研究活動において、職場の両立支援担当者および医療機関の看護師による意見交換の積み重ねを通じて協働し、がんに罹患した労働者（患者）の両立支援を促進するための人材育成プログラム案および教材案を開発しました。令和 6 年度・7 年度には研究課題「地域特性を考慮した医療機関と職場の協働によるがん患者の両立支援を促進する人材育成の取組み」の一環で、岐阜県内の圏域ごとに研修会を開催しプログラム案・教材案を精練してきています。今回は、研究の最終段階として、岐阜県内において人材育成プログラム案および教材案を用いた研修会を開催いたします。両立支援を担当している方、関心のある方にご参加いただきたいと思います。お待ちしております。

研修会の日時・内容

研修会の日時は令和 8 年 9 月 26 日（土）14 時 00 分～16 時 30 分（2.5 時間）、岐阜県立看護大学（羽島市）を会場とします（参加費無料）。研修の内容として、①がんの病期や治療の現状を踏まえた知識や情報の提供、②職場の両立支援担当者および医療機関の看護師の両立支援の活動紹介および参加者間の意見交換、③紙上事例を用いた支援の実際の紹介と具体的支援策の検討、④自職場の両立支援の課題の整理と必要な取り組みの計画を予定しています。詳細は別紙プログラムをご参照ください。また、研修で使用する教材（A4 版 20 ページ）には、知識・情報提供、紙上事例等が含まれています。

なお、会場等の都合により、研修会の定員は 60 名程度を予定しており、それを超える場合は参加をお断りすることがあります。

参加申し込み方法および連絡先情報の管理

研修会には自由意思に基づいてご参加ください。参加申し込みは Microsoft Forms にて受け付けます。別紙プログラムに記載している QR コードあるいは URL よりお申し込みください。なお、申し込み後、研修への参加を取りやめる場合は、研究者連絡先にご一報ください。

申込時には、職種、両立支援における立場、所属機関名、連絡先（メールアドレス・電話）、氏名を記載していただきますが、研修会に関するご連絡のみ使用し、別の用途には使用いたしません。また、研究者 3 名（梅津美香、橋本薫衣、廣永佳己）が紙媒体の場合は鍵のかかる棚に保管し、電子データの場合はパスワードをかけて管理し、研修会に関する連絡の場合のみ使用します。連絡先情報は研修会から 1 か月後の時点で廃棄します。

研究協力をお願い

本研修会は、研究課題「地域特性を考慮した医療機関と職場の協働によるがん患者の両立支援を促進する人材育成の取組み」の一環で行うものであり、研究課題は、岐阜県立看護大学共同研究事業の一つとして 2 年計画で取り組むものです。研究計画の概要として、1 年目には岐阜県全域を対象に人材育成プログラム案および教材案を用いた研修会を開催し、参加者を対象とした質問紙調査および研究者間の振り返りと評価を行います。2 年目には、これまでの研究成果を踏まえて、地域特性を考慮した医療機関と職場の協働によるがん患者の両立支援を促進する人材育成の方法を明らかにし、継続的な研修事業として成立するよう検討する予定です。令和 8 年度は研究計画の 1 年目となります。

研修会の評価および今後の参考とするために、参加者の方には、研修会終了時に簡易な質

問紙調査（無記名）へのご協力をお願いしております。調査項目は、所属施設・種別（選択肢）、がんに関連した従業員・患者の両立支援における立場（選択肢）、令和6・7年度の研修会への参加の有無、研修会のプログラム・教材についてのご意見（自由記述）、両立支援についてもっと知りたいと思ったこと（自由記述）、両立支援を促進する人材育成について考えたこと（自由記述）等です。ただし調査への回答は、必須ではありません。また、調査に回答していただいた場合、回答を研究データとして活用することへの同意の有無をおたずねし、同意が得られた場合のみ回答を研究データとして活用します。調査に回答しない場合あるいは回答を研究データとして活用することに同意しない場合でも、研修会にご参加いただくことは問題ありません。また、研修会の内容、参加者数・参加者情報（参加者の職種・両立支援における立場）を研究者が記録し、研究データとします。研究データは、当該研究終了日から5年を経過した日（2033年3月）又は当該研究の結果の最終の公表日から3年を経過した日のいずれか遅い日まで、研究者が責任を持って管理します。その後、紙媒体のものはシュレッダーにかけ処分し、電子データは記録媒体から完全に消去します。

私たちは、研修会に参加することにより参加者間でネットワークづくりの基礎ができる可能性があり、質問紙に記載することで両立支援について振り返りができると考えております。

以上の趣旨をご理解いただき、研修会にご参加いただければ幸いです。

令和8年7月6日

本研究は、岐阜県立看護大学研究倫理委員会の承認を受けています（承認番号0377）。

研究結果は、岐阜県立看護大学共同研究報告書、岐阜県立看護大学紀要、専門学会誌等での公表を予定しています。

なお、本研究に関する利益相反はありません。

研究者

岐阜県立看護大学成熟期看護学領域

教授 梅津美香、教授 布施恵子、准教授 船橋真子、助教 橋本薫衣、
助教 廣永佳己

岐阜県立看護大学地域基礎看護学領域

講師 原田めぐみ

岐阜県立多治見病院 西尾静

西濃厚生病院 田上知江美

千賀社会保険労務士事務所 高橋麻美

研究者連絡先

岐阜県立看護大学成熟期看護学領域 教授 梅津 美香

連絡先 住所：〒501-6295 羽島市江吉良町 3047-1

電話：058-397-2344（直通）

E-Mail：umezum@gifu-cn.ac.jp

岐阜県立看護大学成熟期看護学領域 教授 布施恵子

連絡先 住所：〒501-6295 羽島市江吉良町 3047-1

電話：058-397-2356（直通）

E-Mail：keifuse@gifu-cn.ac.jp